



新春の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

現市政は、**住民不在で民意が通らず、住民に寄り添わない**状況になってきています。このままでは三原は良くなりません。**市政刷新が必要**です！

## 1. 9月・12月定例議会で質問しています！

定例議会の一般質問は、次の4件について行いました。以下に質問の要点を示します。詳細は YouTube、後援会ホームページ、市議会だよりをご覧ください。

(1)(2) 9月、(3)(4) 12月議会で質問しました。

### (1) トライアスロンさぎしま大会の今後について

32 回も続いている伝統ある本大会は、佐木島の人口減少と高齢化により存続が危ぶまれています。この大会について本市の思いを問いました。

**【質問1】** この大会を今後どうしていかうと考えているのか。

**【市答弁】** 鷺浦町内会の方々の意見を聞きながら、他の大会の運営方法も参考に、情報収集に努め、実行委員会の皆さんと方策を検討していきたい。

**【質問2】** 大会会場として使っていたサギ・セ



ミナー・センターを来年3月で閉館すると市長より伝達があった。大会会場を新たに考えることは大変な負担となり、適切な場所もない。閉館を次年度の大会が終了するまで延期できないのか。

**【市答弁】** 安全性確保のために来年3月末の閉館は変えない。

\* 市内外に知れ渡っている本大会ですが、島の行事のため、市としては動かないとの対応が残念でなりません！

### (2) 高齢者が地域社会で活躍できる環境整備を

市内には 65 歳を過ぎても働きたい思いのある方が大勢いらっしゃいます。本市の取組について問いました。

**【質問1】** 本市の 65 歳以上は人口の何%か。またその内の就業率はどの位か？

**【市答弁】** 65 歳以上は 36% で、その内の約 24% が就業している。

**【質問2】** 高齢者が地域社会で活躍できる環境整備が遅れている。また、本市の生涯現役社会を目指す取組は、岡田市政になってから具体的事業が見えないが、何をしているのか。

【市答弁】高齢者の就業支援はしていない。今後検討していく。

\* 健康寿命を延ばし、生涯現役社会への取組が必要ですが、中高齢者の就業支援窓口を持つ竹原市等と比べると本市は遅れています。ここにも目を向けるべきです！

### （3）こどもおしごとチャレンジの実施状況と成果目標は

市長の肝いりではじまったこの事業の実施状況と問題点について問いました。

【質問1】2千万円をかけたこの事業の実施状況と小3～6年生児童の参加状況を問う。

【市答弁】10月末までに33職種、計55回の講座を実施。実参加人数は369人で、対象児童数3,053人に対し参加率は12.1%である。

【質問2】全体に参加率が低く、一部の児童しか参加できず、公平性にも課題がある。また、今後成果をどのように測るつもりか。

【市答弁】子どもたちが、将来の夢や可能性を拡げ、三原を誇りに思うこと。保護者は、子育てに魅力があるまちを実感することが成果である。（期待した答弁は得られず！）

\* 一部の子どもたちを対象に、2千万円の税金を使うこの事業は、市が行う事業なのか疑問です。また、ただやるだけで、数値的成果を求めない事業は税金の無駄遣いです。パフォーマンスと言われてもしょうがありません。

むしろ、本市の学力定着率が毎年低下しており、その対策に力を入れるべきです。

### （4）里山林の整備と森林経営管理事業について

農山村地域の里山林の管理が過疎化と高齢化によりできなくなり、災害リスクや獣害被害が拡大しています。今後の里山林の整備への取組について問いました。

【質問1】「ひろしまの森づくり県民税」を使

った森林整備事業の状況を問う。

【市答弁】15年間整備されていない人工林の間伐や天然林の枯れ木の除去、観光地付近の景観確保作業をしている。また、住民団体の森林環境整備活動や林業体験活動を支援し総額約2千2百万円の事業費でしている。

【質問2】国から配布され積み立てた森林経営管理事業積立金が約4千2百万円あるが、どう使う計画か。

【市答弁】平成30年の豪雨災害で崩壊した森林を緑化し、森林機能の回復に使って行く。

\* 今後ますます里山林の荒廃化が進み獣害被害の拡大も予想されます。森林面積が67%を占める本市においては、重大な問題になってきます。放置できない課題です。

## 2. 議会トピックス

### ◆ 令和4年度決算の状況

本市の財政状況は、黒字財政にはなっていませんが、少しずつ財政構造の弾力が無くなって来ており、義務的経費比率が高くなり、投資的経費に廻す資金が減って来ています。

また、今後10年間の財政計画が出されましたが、毎年赤字で、これまで貯めた貯金や基金で補填する計画しか出て来ません。

人口減少が進む中、毎年同じような政策しかできない市政では、衰退を招くだけです。

### ◆ 産業廃棄物最終処理場の設置許可取り消しの意見書を議決

令和5年7月14日に臨時議会を開き、本郷町南方の産業廃棄物最終処分場の設置許可の取り消しを県に求める意見書が可決しました。操業して1年にも満たない時点で、処分場の排水が産業廃棄物処理法の水質基準を大幅に超え、県の稼働停止



〈処理場調整池〉

指導後も搬入を繰り返す事業者に対し、許可の取り消しを求めたものです。

7月22日に現地視察を行いました。処理場調整池の位置が不適切であったり、排水から異臭がしたり、設計や管理面で問題がある事業者であるといえ、県の設置許可認定に不備があると言わざるを得ません。

⇒しかし、本市の対応は地域住民に寄り添っておらず、県と足並みをそろえた問題はないとの消極的な態度で、実態を掴もうとしていません。今の市政は問題があると言わざるを得ません。

#### ◆ コミュニティ・スクール制度の導入

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指して、コミュニティ・スクールが令和6年4月から市内5校で始まります。

文科省が推進するこの取組は、県内の殆どの自治体が既に実施していますが、遅れて本市もようやくスタートしました。昔の様な地域と学校が一体となった運営を増やして行こうとするものです。

#### ◆ サギ・セミナー・センター閉館

佐木島で唯一の大型宿泊施設が、令和6年3月末で閉館することに決定しました。

再三にわたり、鷺浦町内会等から活用延長の要望を出しましたが、安全性と高額な維持費を理由にまったく、受け入れられませんでした。

収支や施設の改善努力もせずの閉館や、高額な船賃助成の打ち切りなど、佐木島民をどうしようとしているのかが見えない市政です。

#### ◆ 元三原市民福祉会館を売払いへ

建物等解体条件付き土地売却の入札結果、2百万円の予定価格が、約255百万円で落札されました。所有権移転の日から1年以内に、建物等が解体撤去されますが、この土地が何に転用されるかは公表されていません。

#### ◆ 本郷産業団地へデータセンター立地決定

空白だった本郷産業団地に Asa 合同会社のデータセンターの立地が決まりました。土地売却価格は58億円（面積27万5千m<sup>2</sup>）で、段階的に整備され、約10年後に全てが稼働の計画ですが、雇用はほとんど生まれません。

この話を聞いてガッカリしています。本市に最も必要な事は、若い人が帰って来れるよう働く場を作って行くことです。雇用を生まない企業誘致は地域経済への効果が薄く、本市の活性化に繋がらず残念でなりません。

#### ◆ 三原市の空き家・空き地対策について11/14（全国市議会議長会が三原で）

全国から20自治体の委員が三原に集まり、本市の空き家と空き地対策の取組についての勉強会がありました。

本市では色々な取組が始まった段階で、空き家の活用を進めています。まずは、空き家調査にご協力ください。



### 3. 経済建設委員会の活動

#### ◇ 高校生との意見交換会（議場見学）11/15

本委員会は、三原高校との意見交換の第1弾として、2年生157人の議事堂見学を企画しました。「議会とは」の説明の後、市庁舎7階議事堂を自由に見学してもらい、議場の雰囲気を感じてもらいました。若い人たちが一人でも多く市政に関心を持ってもらえたらと思います。



## ◇ 観光と関係人口創出のための講演会開催 11/27

本委員会では、衰退する中心市街地に人を呼び込む施策として、新たな発想での取組を考えています。講師に、(株)ミクルの高本様をお招きして、観光と関係人口をつなぐ研究をしています。

## 4. 活動報告&お知らせ

### (1) 中山間地域の課題

昨年の夏から中山間地域を中心に実態調査の行脚を行っています。

見えて来た課題は深刻な状態で、5年もすれば限界集落がどんどん増えてきます。儲からない農業、高齢化による後継者問題、耕作放棄地の拡大、獣害被害対策、交通弱者対策、買い物難民対策等課題が山積みです。真剣に中山間地域の今後を考えなくてはなりません。

### (2) 円一県営住宅集会所トイレの洋式化

高齢化が進む円一県営住宅住人から集会所のトイレ洋式化の要望が署名とともに出されていました。県議会議員を通して県へ直接要望して頂き、10月に洋式化工事が完了しました。



### (3) 舟入櫓石垣した通路に柵設置完了

一昨年、石垣から落石が発生し、安全対策を急ぐように依頼していましたが、ようやく、柵と歩道整備が完了し、通行止めが解除されました。



## 5. あとがき

本郷産業団地にデータセンター立地が決まりました。雇用を生まない企業誘致を残念に思うことを述べました。高齢化が進む久井町では、息子たちに帰って来いと言えないと言われます。理由を聞くと、「農業では食べていけないし、働く所がないからだ。」と。

本市に最も必要なのは、働く場の創出と沈滞した地域経済の活性化です。市長は子育て支援だけを大変重視していますが、働く場がなければ若い世代は転居して来ません。また、学校の学力レベルも転居の判断材料です。街の魅力や生活のしやすさも重要です。

市長はもっと市民の声に耳を傾け、困っていることの解決にもっと取り組むべきです。今のやり方では、本市は絶対に良くなりません。

**みなんさんのご意見をお聞かせください！**

- ・ 市政について
- ・ 普段の生活の中で気付いたことや問題点など
- ・ 将来のためにこうすべきだ 等々

**お気軽にご連絡ください！**

<連絡先> 〒723-0017  
三原市港町三丁目 16 番 13 号

携帯電話：090-7137-0440

FAX：0848-64-8911

E-mail：[h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp](mailto:h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp)

<https://www.tanakahiroki.info/>



<田中裕規 プロフィール>

- ・ 東京農工大学工学部大学院卒
- ・ 元帝人(株)社員
- ・ 三原市防犯連合会会長
- ・ 保護司

田中ひろき後援会だより発行責任者：武郷康則